

大阪府指定 令和2年度 保育士等キャリアアップ研修

本研修は「保育士等キャリアアップ研修の実施について」（平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号）の「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」に基づき、保育士等キャリアアップ研修実施機関の指定を受けた当法人が開催する研修です。

【開催要項】

●研修分野

専門分野別研修 [障害児保育]

研修目的

障害児保育を行っていくうえでの保育者の困り感やその解決の糸口が理解できるようにする。まずは、障害児保育を支える制度の活用の理解、多様な背景のある子ども理解から、障害の診断を受けた子どもだけではなく、障害のない子、いわゆる「気になる子」を含めた援助方法、さらには、保護者や小学校、地域社会との協働のもと、障害のある子どもの支援について把握し、個々の障害に応じた支援計画が立てられ、PDCA サイクルが実践できるようにする。

●研修会場

社会福祉法人 山善福社会 認定こども園さんすい学園 2F 研修室 定員 50 名

住 所：大阪府茨木市東太田 3-8-3

最寄り駅：阪急富田駅または JR 摂津富田駅

駐車場はありません。お車でお越しの方は近隣のパーキングをご利用ください。

●受講料

1 分野 10,000 円（資料・昼食・お茶含む）☆ 2 月 7 日は午前で終了のため昼食は付きません。

※受講決定通知とともに振込のご案内をいたします。

●お申込みについて

受講申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX[072-633-1856]にてお申し込みください。

受付開始日 11 月 9 日

申込締め切り日 12 月 9 日 ※先着順で定員になり次第締切とさせていただきます。

お申込み後 1 週間以内に受講決定通知書を FAX またはメールさせていただきます。

なお、お申込後 10 日を過ぎても受講決定通知書が届かない場合は問い合わせ先までご連絡ください。

※大阪府が他の都道府県及び市町村に対し、必要に応じて研修修了者名簿に記載する情報を提供しますので、同意される方のみお申込みください。

問い合わせ先：社会福祉法人山善福社会 鮎川保育園 TEL072-633-0006 担当：川村

●修了証について

- ・1 分野すべてのカリキュラムを受講
- ・レポート・アンケートをすべて提出
- ・欠席、遅刻、途中退席等がないこと

上記 3 点を確認した上で修了証の交付をおこない、大阪府に報告いたします。

●初回持ち物

- ・受講決定通知書
- ・保育士証の写し

※はさみとスリッパをご持参ください。(全日程)

●実施主体

社会福祉法人 山善福社会

<個人情報の取り扱いについて>

申込用紙に記載された個人情報及び申込時にご提出していただく個人の証明書類については、厳重な管理を行い、本事業の運営以外の目的には使用いたしません。

<新型コロナウイルス感染症対策等について>

新型コロナウイルス感染症状況、自然災害等の発生により、受講者の安全が確保できない、と判断した場合は、研修を中止することがあります。

会場では必ずマスクを着用し、備え付けの手指消毒剤で消毒の上、研修にご参加下さい。

検温はご家庭で済ませ、受付で検温表に体温の記入をお願いします。37.5 度以上の発熱がある場合は研修に参加できません。

●研修日程および内容について

1 日目	令和3年1月 24日(日)	9:00 受付開始	9:30~17:00
2 日目	令和3年1月 31日(日)	9:15 受付開始	9:30~17:00
3 日目	令和3年2月 7日(日)	9:15 受付開始	9:30~12:50

講師

四天王寺大学 小川圭子

◆1 日目 1月24日(日)

時間	テーマ	内容
9:00~		受付開始
9:15~		開会 受講ガイダンス
9:30~10:30	障害の理解 基礎編	保育所保育指針における障害児 保育の意図を理解する。特に、発達

		<p>障害の基礎的な知識を習得し、よりよい障害児保育のあり方の基礎力を身につけて、障害児保育に必要な知識や技術について、広く習得することを目的とする。</p>
10 : 40～11 : 40	インクルーシブ保育と合理的配慮	<p>保育の場におけるインクルーシブ保育の実践と、発達が気になる子どもに対する「インクルーシブ保育」の考え方に沿って、実践的で具体的な対応法や工夫を学び、障害の子どもが集団生活を送る上で妨げとなる社会的障壁を取り除き、状況に応じて行われる合理的配慮についても理解することを目的とする。</p>
11 : 50～12 : 50	障害児保育の最近の動向と課題	<p>子どもの発達を促す障害児保育の在り方について、障害児保育の動向から、改善すべき点、継続していく点などについて理解し、今後のよりよい障害児保育のあり方について、個々の園の課題も含めて考察していくことを目的とする。</p>
12:50～13:40	<p>昼 食</p>	
13:40～14:40	障害児保育における環境	<p>保育者が構成する環境によって障害のある子どもの発達は助長される。日々子どもとかわる保育者は障害のある子どものその時、その場の保育室等の環境の重要性を理解し、障害のある子ども一人ひとりに応じた環境構成の工夫について考える。</p>
14:50～15:50	障害児保育における遊びを通しての学び（1）	<p>障害のある子どもの遊びも、子どもの自発的な活動を通して様々な学びが積み重ねられていく。カール・オルフ（Carl Orff）の障害のある子どもの音楽表現について理解を深め、障害のある子どももいない子どもも共に自己表現できる音楽遊びについて、実践に活かせるようにする。</p>

16:00~17:00	障害児保育における遊びを通しての学び（２）	カール・オルフの理論に基づいて、受講生同志（１）で作成した表現を手掛かりに、創り出された身体表現を見つけ、動きながら心と身体をほぐし、表現することの遊びの楽しさ知る事ができるようになり、各グループの発表から、それぞれの障害のある子どもの表現遊びについて考察する。
-------------	-----------------------	---

17:00~17:20		質疑応答 終了
-------------	--	---------

◆2日目 1月31日(日)

時間	テーマ	内容
9:15~		受付開始
9:30~10:30	障害のある子どもと保育者の関わり	障害のある子どもの保護者は、子どもの行動に悩んでいたりと、他児とのトラブルから保護者同士での関係を良好に維持しにくい側面がある。その保護者を支える保育者の力がとても重要になってくる。配慮すべきポイントを挙げて、信頼関係のポイントを把握できるようにする。
10:40~11:40	保護者や家族に対する理解と支援	園全体で子どもを支援していくが、やはり保護者との連携が大切である。保護者支援や家族支援は園の行事や小学校への就学となった際には特にこの視点が欠かせない。討論等で支援の方法についてさぐり、よりよい連携の在り方を把握する。
11:50~12:50	障害のある子どもの行事について	障害のある子どもは、行事に参加しにくかったり、練習を嫌がったり、行事が近づくと分かったと園に行くことを拒んだりする傾向がある。障害のある子どもと一緒に、参加できる行事の在り方や、保護者とともにどのように連携していけばよいのかについて理解し、個々の障害に応じて実践できる方法を知る。
12:50~13:40	昼食	

13:40~14:40	他職種、地域社会との協働	他職種の業務内容を再確認するとともに、事例から協働の在り方を考察し、様々な制約のある環境の下であっても、それぞれの園内外にある資源を十分に活用できるように工夫して、多職種協働による支援の在り方についての力を養う。
14:50~15:50	小学校との連携	幼稚園から小学校へ向けての引き継ぎツールとして就学スキルチェックシートを作成する方法を習得する。さらに、小学校への引継ぎに当たり、保護者との連携や工夫した取り組み方法について、討論してその技術を習得する。
16:00~17:00	障害児保育の観察・記録について	観察・記録は保育者が日常的に行う重要な営みの一つである。保育実践を通して捉えた障害のある子どもの発達、特に興味、関心の拡がりや、表現の楽しさの拡がりに関する内容に視点を置いて、目標に関連する子どもの発達を継続的に観察・記録することの必要性について理解する。
17:00~17:20		質疑応答 終了

◆3日目 2月7日(日)

時間	テーマ	内容
9:15~		受付開始
9:30~10:30	全体的な計画に基づく指導計画	日々記録にとどめ、評価することにより、保育者は子ども理解を深め、子どもに即し指導計画作成するための根拠となる。そのための、全体的な指導計画作成する際のポイントを理解できるようにする。
10:40~11:40	個別指導計画作成の留意点	チェックリストを用いて、障害のある子どもの状態を明確にし、それに基づいた支援計画作成する。子どもの姿に基づいた目標、保育者の保育の目標を具体的に明確に

		なるような力を養う。
11 : 50～12 : 50	障害児保育の評価 まとめ	子どもの姿がどのように変容しているかをとらえながら、そのような姿が生み出されてきた様々な状況について適切かどうかを検討して、保育をよりよいものに改善するための手掛かりを理解し、障害児保育における評価とは何かを明確にとらえる。
12 : 50～13 : 10		質疑応答 終了

令和2年度 大阪府保育士等キャリアアップ研修 受講申込書

フリガナ				性別 女 ・ 男
氏名	(姓)	(名)		
生年月日	西暦	年	月	日
	受講通知送付先: FAX (自宅・勤務先) または メール(自宅・勤務先)			
連絡先	自宅・勤務先	電話番号	※日中9時～17時頃の時間帯で連絡可能な番号を必ず記入してください。 [自宅・携帯] _____ [勤務先] _____	
	どちらかに○をしてください			
自宅住所	〒 _____			
フリガナ				
勤務先名称				
勤務先住所	〒 _____			
勤務先種別	該当するものに○をしてください。・保育園 ・認定こども園 ・小規模保育施設 ・その他()			
職種	該当するものに○をしてください。・保育士 ・栄養士 ・調理師 ・看護師 ・その他()			
「保育士」の資格証の有無		無し ・ 有り (有りの方は以下も必ずご記入ください。)		
保育士登録番号 (保育士の方のみ)		_____ 都 道 府 県 _____ ※保育士証の写し(コピー)を研修当日、ご持参ください。		
「保育士」としての経験年数		年 ヶ月		

受講を希望される研修に○印をしてください。

障害児保育	令和3年1月24日、1月31日、2月7日	
-------	----------------------	--

※大阪府が他の都道府県及び市町村に対し、必要に応じて研修修了者名簿に記載する情報を提供しますので、同意される方のみ各研修にお申込みください。